

2023 最上町ロードレース大会が6月11日(日)、最上西公園特設コースを会場に開催されました。今大会は、最上町在住者に限定せず、町外参加者の募集も行い川西町、新庄市、金山町、舟形町、戸沢村などから79名の参加をいただきました。当日はあいにくの雨模様となりましたが、すべての参加者が無事に完走致しました。

前回同様、前走・ペースメーカーとして県縦断駅伝 新庄・最上チームの板垣 新一監督をはじめ、上石 敦士、奥山 智広、菅 一生、野口 颯 選手の参加もあり、閉会式ではプレゼンターをしていただき、たいへん盛り上がりしました。浴道からのたくさんのご声援、応援ありがとうございました。

ロードレース大会が開催されました



日本福祉大学の学生へ高橋町長が講演



町と友好協力宣言を締結している日本福祉大学は学園創立70周年を迎えました。5月26日(金)、愛知県東海市にある日本福祉大学東海キャンパスにて、高橋町長が最上町に関する講演を行いました。今回は、経済学部の3年生を対象にした「経営者特別講義」のゲスト講師として、最上町のまちづくり政策を紹介しました。

「自治協働のまちづくり」の実践について熱く語る町長の姿に、参加した約80人の学生たちも終始真剣な面持ちで聞き入っていました。



小学校のスポーツ交流会が行なわれました

最上町小学校スポーツ交流会が6月21日(水)に向町小学校を会場に開催されました。大堀小学校と向町小学校の6年生が参加し、両校児童の交流と連帯感の向上を目的とした、両校混合のドリブルリレーが行われました。

チーム内で作戦を立てながら3回のタイム測定を行ない、タイムの短縮に喜ぶ姿や、応援し合いながら両校の児童が楽しく交流する姿が見られました。冬のスポーツ交流はスキー教室を実施する予定です。

地域と共に見守る『大アカマツの森』

6月27日(火)、東法田で開催された大アカマツの森自然学習体験に向町小4年生、大堀小5年生らが参加しました。昨年の植樹祭から1年が経過し、自分たちが植えた苗木が今どうなっているか、そして二代目アカマツは元気に育っているか等をしっかり観察しながら、この森を豊かにしていくために必要な作業を地域の方々と共に協力して行いました。

配られた写真と見比べながら昨年の苗木を探していくと、中には枯れているものもありましたが、一度雪で折れた付近から新しい枝が伸びて小さく再生しているものも見付き、これからの強風や積雪に負けないよう保護する作業を行いました。

最後にはこの地のアカマツで作られた楽器による演奏も披露され、駆け付けた園児たちの元気な歌声が重ねられた美しい音色が故郷の大地に響き渡りました。



職業体験学習「もがみ未来塾」が開催されました

6月2日(金)、最上中学校を会場に職業体験学習「もがみ未来塾」が開催されました。昨年に続いて2回目の開催ですが、今年是最上中学校の全校生徒に加えて最上校の生徒も参加しました。当日は、町内外からご協力いただいた12の事業所等が体験ブースをセッティングし、生徒の皆さんは、一人二つの仕事を選択して体験しました。普段は触れることのできない専門の道具を操作したり、それぞれの仕事の具体的な内容ややりがい等の話を聞いたりでき、将来の職業選択に向けて、貴重な体験の機会となりました。

今後、最上中学校では2・3年生が職場を訪問し、体験学習を通してキャリア学習を深めていきます。



第2回ワイルドエドベンチャースクール



第2回ワイルドエドベンチャースクールが6月3日(土)に萱場地内、山刀伐峠を会場に田植えとトレッキングが実施されました。雨天の中の田植えでしたが、参加者は全身泥だらけになりながら、一生懸命苗を植えていました。この活動を通して、作物を作る大変さや、ありがたみを感じてもらえたと思います。トレッキングは、木や草花の名称などを教えてもらいながら山刀伐峠を歩き、一日を通して非常に有意義な活動になりました。

大きくな〜れ 園児らがさつまいもの植付



6月8日(木)晴天に恵まれたこの日、あたごこども園と大堀保育所の年中児が、赤倉の産直ゆけむりが管理している畑でさつまいもの植付を行いました。産直ゆけむりの皆さんの指導を真剣な眼差しで聞き、「大きくな〜れ」と声をかけながら、産直会員のみなさんと一緒に苗を植えました。園児らは秋にたくさんのさつまいもが収穫できることを楽しみにしていました。